

1年英語通信④

Hello! As you know, we will be able to have school again this Wednesday and Thursday! We are so excited to see you all again!

皆さん、お元気ですか？この水曜、木曜に分散登校できることになりましたね！英語の時間もありますので、これまで自宅学習した中で出てきた疑問を質問してください。

★学習方法がよく分からないという人は下の手順を見て、出来ているか確認してください。

①コミュ英 本文を理解する。(語句の確認・文法的な理解)
CDをしっかりとまねして正しく音読する。
日本語訳を見て英文を言えるように練習する。

②英表 be 各レッスンの内容に相当する Breakthrough の範囲をしっかりと読んで理解する。
Target Sentences を覚える。
Exercise と Workbook の問題を解いて難しかった表現を復習。

③English Portfolio 文法を意識しながら、自分なりの文章を書く。
学習した文法知識を**実際に使ってみる**ことで**定着**します。

④LEAP ダウンロードした音声を聞きながら発音練習をして覚える。
HP にアップしてある確認テストをやってみる。

【コミュニケーション英語 I】 Lesson1 Part4 解答・解説

【Listen】 1. (尊重する) 2. (交流) (楽しんで)

【Intensive Reading】 文法解説

(2行目) **When** I performed English rakugo in India, /

※従属接続詞 **when** がついているので、
ここまでで一区切りで理解する

I **told a joke** about a cow.

インドで英語落語をやった時に、/ (私は)牛について冗談を言いました。

※**tell a joke / jokes**: 冗談を言う

(注)「言う」ですが say は使いません。

(3行目) **However**, cows are sacred animals in that country,
so **some** people got angry at me.

でも、牛はその国(インド)では神聖な動物**なので**、**中には私に怒る人がいた**んです。(何人かの人達は私に対して怒ったんです。)

※**However**, は「しかし」の意味ですが、「but」と使い方が少し違います。

	品詞	文中での位置	コンマ(,)
however ,	副詞	文の初め・主語のすぐ後ろ・文と文の間	付ける
but	等位接続詞	文と文の間	付けない

※文と文の間で使われている so: ~なので... ~、それで...

文 A **so** 文 B
文 A「理由・根拠・原因」+so+ 文 B「その結果」 という因果関係

※**some** は「いくらかの・多少の」の意味ですが、特に主語で使われている場合、「(中には)~な人・もの もいる・ある」という意味合いになります。

(例) **Some students** are not good at mathematics.
学生たちの中には数学に強くないものもいる。
(「何人かの生徒達は数学に強くない」と訳すより上の訳の方がいいです)

(4行目) **Through** this experience,
I learned /
that **being able to speak English** is not enough.

この経験を通して、/
英語を話せるだけでは十分ではないのだ / と学びました。

※**through**(前置詞): ~を通して・~をぬけて
もともとは「何かを通り抜ける・貫く」の意味合い。
そこから「~によって(手段)・~のために(原因・理由)」の意味にも。

(例) The Thames flows **through** London.
テムズ川は ロンドンを **通って**流れている。
You really begin to know yourself only **through** study.
人は 勉強**を通して**のみ、自分を本当に知り始める。
He got injured **through** his own carelessness.
彼は自分の不注意(**が原因**)でけがをした。

下線部が名詞なのに注目!

※長い動名詞のかたまり:**being able to speak English**
(英語を話すことができること)

動名詞について詳しく確認しよう! ⇒ Breakthrough pp.202-205
*動名詞の形と意味 *動名詞の文中での働き *否定の動名詞

(5行目) ※さらに長い動名詞のかたまり

Respecting the culture of the people you are talking to
あなたが話している人々の文化 を 尊重すること
is also important.
も 重要です。

※構造:英語はメインの言葉の後ろにその追加説明をどんどん付けていくスタイル
Respecting the culture (ある)文化を尊重すること

of the people ある人々[民族・国民]の(文化)

(whom) you are talking to あなたが話している(人々)

(11行目) I hope / you will **enjoy** learning English /
and
(you)(will) **spread** your wings to travel throughout
the world!

※等位接続詞 **and** のうしろに動詞がある場合は主語などの省略を意識しよう。

【Challenge】

1. 彼は嘘をついたと私は思う。

I think he **told a lie**.

2. 英語が話せると様々な国の人たちとコミュニケーションをとる助けになる
でしょう。

If you can speak English,
it will **help you communicate** with people in different
countries.

※**help (人) do:(人)が do する助けになる**

3. あなたが話していた女性は誰ですか。

Who is **the woman you were talking to**?

※あなたが話しかけている女性:**the woman whom you were talking to**

が正式ですが、ふつう、**whom** を省略します。なくても意味が分かるからです。

※最後の **to** を忘れないように！

<確認>

the woman + You are talking **to** her.



the woman (**whom**) you are talking **to**

【Express your idea】

Kaishi said respecting other cultures is important.

What do you think is important to communicate with people in other countries?

(かい枝さんは 他の文化を尊重することが重要だ と言っていました。

あなたは 他の国の人たちと交流するときに 何が重要だと 思いますか。)

Now we can get a lot of information about people in other countries, but it does not mean we can understand them well. To communicate with other people in other countries, getting information about them is not enough. We should imagine their life as our friends, so we will be able to be good friends of them. I think imagination is important.



これで Lesson1の本文解説は終わりです。

冊子の後ろには“Reflections”(振り返り)、“Further Study”(動名詞の研究)、“Expression”(「落語」の英語説明)、

“Comprehension/Vocabulary/Practice”(復習問題) が付いています。

出来るところまでやってみましょう！